

平成30年度第1回区政会議(各部会)における「追加意見」への対応方針

当年度(30年度)において対応 31年度運営方針に反映または31年度に対応予定
 31年度では対応できないが、今後引き続き検討 対応困難または対応不可
 その他

番号	年月	委員名	外部評価意見	対応方針	分類
1	H30.7	三木委員	災害に対しては、行政に全て任せて自己責任の意識が希薄である。避難所開設はまさに、地域住民の必須の役割である。ただし、自主的に運営するまでに行政のサポートがあるのはありがたい。行政の役割と住民の役割を明文化し、地域住民が自主的に自立できるような教育・サポートが重要となる。 (H30.7.12区政会議活力・安全部会)	【総務課(防災)】 避難所の開設・運営には、地域の方のご協力が不可欠であることなどについて、区民の方への啓発に今後より一層取り組む必要があると考えています。	
2	H30.7	三木委員	自治会組織の活性化に取り組んでほしい。防災に関してだけでなく広く住民の生の声を聞き、行政と地域住民の双方向のコミュニケーションで大きく変革できると確信する。 (H30.7.12区政会議活力・安全部会)	【市民協働課(市民協働)】【総務課(防災)】 三木委員のご意見のとおり、行政と地域住民の双方向のコミュニケーションは大切と認識しています。 自治会・町内会、その他各種グループといった活動主体間の連携促進に対する支援として、町内会とも関係をつくり、個別の相談にも対応しています。今後も継続してまいりたいと考えています。	
3	H30.7	坂井委員	H30運営方針の各戦略について、目標年度が30年度のものとは32年度のものがあるが、この違いは何か。 (H30.7.12区政会議活力・安全部会)	【総務課(企画調整)】 「旭区将来ビジョン」に基づきH30運営方針を策定していますが、整合性のとれていない項目がありました。H31運営方針策定時は整合性が取れるように策定したいと考えています。	
4	H30.7	坂井委員	H30運営方針の戦略4-2(地域防犯力の強化)において、運営方針のH30目標値が75%で、旭区将来ビジョン2022のH32目標値が40%であるが、なぜこんなに数値が下がるのか。 (H30.7.12区政会議活力・安全部会)	【市民協働課(市民協働)】 ご指摘ありがとうございます。旭区将来ビジョン2022の次回改定時に、見直し、適切な数値に修正します。	
5	H30.7	水戸岡委員	在宅医療が充実するような取組を旭区から始めてほしい。 (H30.7.13区政会議子育て・やさしさ部会)	【保健福祉課(保健・子育て)】 平成29年度より、旭区医師会を中心とした区内の医療、介護に携わる各種団体や連絡会、病院や施設で実際に業務をされている方々により医療と介護の連携を図るため、「旭区在宅医療・介護連携推進会議」を開催し、旭区内では今までなかった、医療従事者と介護従事者の顔の見える関係ができ始めてきており、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいきます。	
6	H30.7	水戸岡委員	防災について、対策本部を立ち上げて各町会へ何の連絡もなく、トランシーバー等、誰の手にも渡っていない。シミュレーションの時だけ使用されている現状である。 (H30.7.13区政会議子育て・やさしさ部会)	【総務課(防災)】 今回の地震対応では、情報共有について課題があったと考えています。 今回の地震を教訓に、各地域の状況も踏まえながら、より実践的な防災訓練となるよう取り組んでまいります。	
7	H30.7	水戸岡委員	役所の方々が、何事かの時、足を運んで生の状態を把握し、声を聞いて目で見て対策を講じる。インターネットでの一部のアンケートだけでパーセントを出すのはやめてほしい。楽な取組となっている。 (H30.7.13区政会議子育て・やさしさ部会)	【総務課(企画調整)】 評価指標につきましては、H31運営方針策定に向け、具体的内容について区政会議にてご意見をいただきながら、策定していきます。なお、区民アンケートにつきましては、インターネットではなく郵送で実施しています。	